

飯田市 環境方針

1 基本理念

私たちは、広い視野に立って、すべての人々が健全で豊かな環境の恵沢を享受するとともに、将来の世代に良好な環境を引き継いでいく責務を有することを改めて認識し、これまでの環境文化都市を目指し取り組んできた歩みをさらに進め、「結い」と「ムトスの心」、「自治の基盤」を原動力に、外からの知見も積極的に呼び込みながら、人も自然も輝く個性ある「環境文化都市・飯田」を再構築していきます。

2 行動指針

「環境文化都市・飯田」の実現に向け、以下の事項に取り組むとともに、その結果を検証し、継続的改善を図ることにより、順守義務を満たしながら、美しい環境と文化の香りに包まれた持続的に発展することができるまちづくりを行います。

- すべての業務について環境に視点を置きつつ市民サービスを向上させるとともに、環境問題に対して市民、地域、事業所などが具体的なアクションを起こせるよう、工夫しながら実施します。
- 環境文化都市の実現を目指す飯田市の職員として、一人一人が環境問題に対する意識を持ち、それぞれの立場から業務を通じた具体的なアクションを起こします。
- 21'いいだ環境プラン第5次改訂版に定める6つのゴール*の達成に向け、市民、地域、事業所など、多様な主体との協働により、積極的に取り組みます。
- 2050年に二酸化炭素実質排出ゼロを達成するゼロカーボンシティを目指し、市民や事業所の範となるよう「飯田市役所地球温暖化防止実行計画」に基づき、省エネルギーの推進と再生可能エネルギーへの転換を積極的に行います。
- コロナからの復興は、「環境」をテコに「暮らし」と「経済」を再生するグリーンリカバリーという考え方を通じた「より良い社会」の実現を目指し、地域資源を最大限活用しながら地域内経済循環を促す視点をもって取り組みます。
- 猛暑や豪雨災害など、顕在化してきた気候変動による影響に適応できるよう、各種計画において具体的な対策を定めて実行します。

2021(令和3)年1月13日

飯田市長 佐藤 健

* 2021(令和3)年4月からスタートする 21'いいだ環境プラン第5次改訂版に定める4年後の目標として定めた以下の6項目。
ゴール1「健康で快適な生活を維持しよう」(生活環境)、ゴール2「次世代に引き継ぐ美しい田園都市空間をつくろう」(都市環境)、ゴール3「3Rに取り組み循環型社会を築こう」(廃棄物)、ゴール4「豊かな自然を守り育もう」(自然環境・生物多様性)、ゴール5「気候変動への対策に取り組もう」(気候変動)、ゴール6「環境問題を知り、学び、実践に移そう」(環境学習)